

## 「登下校時の緊急避難校ネットワーク」に関するお知らせ

時下 保護者の皆さまには、日頃より本校の教育活動に多大なるご理解を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、平成は災害の時代だったとも表現されますように、東日本大震災をはじめ熊本地震など多くの地震災害の他、西日本豪雨災害のような気象災害も多発し、未だに多くの痕跡を残したままです。時間の経過とともに、被害が拡大した要因について少しずつ明らかにされてきていますが、経験則では計れない自然災害のメカニズムが存在することは、今後も忘れてはならないことだと思っています。特に私たちの身近では、首都直下地震の発生や豪雨による河川決壊に対するリスクが指摘されていることから、今後起こり得る災害に向けて、私たちはしっかりとした準備を整えてゆかなければならないと考えております。

その備えの一つとして、平成 25 年 10 月より東京の私立中学・高等学校では、「登下校時の緊急避難校ネットワーク」を立ち上げ、各学校間で協力し、生徒の安全・安心を守るという取り組みを始めました。その後もネットワークの拡充を行い、現在ではその範囲が、東京都の私立小学校および神奈川県私立学校（小・中・高等学校）にまで広がっています。

この取り組みは、登下校の時間帯に災害が発生し、首都圏の交通機関がストップするような状況においても、所在不明の児童・生徒を極力出さないよう、帰宅困難者の保護とその情報の伝達・共有について、各学校間で出来る限り協力し合うというものです。

振り返れば東日本大震災発生時の状況は、東京都内では下校時間とも重なり、帰宅困難となって駅などで不安な時間を過ごした児童・生徒が数多く出てしまいました。また保護者の皆さまも、お子さまの安否情報を確認するために、大変ご苦労されたことと推察いたします。このネットワークが適切に運用されることで、そういった問題が少しでも低減されることを願っております。

保護者の皆さまにおかれましては、下記の内容をよくご確認いただき、お子様へのご指導を賜りますようご協力をお願い申し上げます。

## 私立小・中・高等学校「登下校緊急避難校ネットワーク」

平成25年10月より東京の私立中学・高等学校では、「登下校時の緊急避難校ネットワーク」を立ち上げ、各学校間で協力し、生徒の安全・安心を守るという取り組みを始めました。その後もネットワークの拡充を行い、現在ではその範囲が、東京都の私立小学校および神奈川県の私立学校（小・中・高等学校）にまで広がっています。

この取り組みは、登下校の時間帯に災害が発生し、首都圏の交通機関がストップするような状況においても、所在不明の児童・生徒を極力出さないよう、帰宅困難者の保護とその情報の伝達・共有について、各学校間で出来る限り協力し合うというものです。

### 記

登下校中に大きな災害が起きて、電車やバスが止まり、学校や自宅にたどり着けなくなってしまった児童・生徒は、東京都および神奈川県内で自分の近くにある私立学校（小学校・中学校・高等学校）へ避難することができます。

①東京都および神奈川県内の私立学校（小・中・高等学校）に避難すれば、原則として、その所在と安否を在籍校に連絡してもらえます。（**避難先の学校から保護者へ直接連絡がいくわけではありません。**）

②家から学校までの通学路（経由駅）周辺にある私立学校を調べ、その所在地を確認しておいて下さい。

※Google マップ等を活用して調べ、プリントアウトした地図や情報を常に持ち歩くことなども有効です。

※東京私立中学高等学校協会（公式HP「東京私学ドットコム」）のトップページにある学校検索機能では、男女別・沿線等を選択して学校を調べることもできます。

[\(http://www.tokyoshigaku.com/\)](http://www.tokyoshigaku.com/)

※神奈川県私立中学高等学校案内から「避難校ネット 学校基礎情報データベース」を確認することができます。

[\(http://npo-rois.org/hinanko\\_db.htm\)](http://npo-rois.org/hinanko_db.htm)

③男子は男子校もしくは共学校に、女子も女子校もしくは共学校へ避難するようにしてください。なお、避難先の学校の状況によっては、受け入れてもらえない場合もあります。家から学校までの間で、複数の学校を候補として考えておいてください。

④ただし、駅構内や公共施設にいた場合は、急いで私立学校を目指すのではなく、まずはその施設のアナウンスに従ってください。

以上